

## Press Release

2015年2月

報道関係各位

バイオトロニックジャパン株式会社

### 両室ペーシング機能付き植込み型除細動器 4極用および4極左心室リードを発売

バイオトロニックジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ジェフリー・アニス)は、2015年2月より、両室ペーシング機能付き植込み型除細動器4極用「イトレヴィア 5 CRT-D QP」及び4極左心室リード「セントラス OTW QP-L」の販売を開始いたしました。

心臓再同期療法は、同期不全と呼ばれる心臓の壁運動のタイミングのずれによって生じる心不全に対して、心房や両心室に電気刺激を与え適切なタイミングで収縮できるようにする治療法です。この度発売した両室ペーシング機能付き植込み型除細動器4極用「イトレヴィア 5 CRT-D QP」及び4極左心室リード「セントラス OTW QP-L」は、12通りの左心室のペーシング極性(左心室への電気刺激経路)が可能となりました。これにより心臓再同期療法の課題であった左心室の高ペーシング閾値や横隔神経刺激を回避出来る可能性が高まり、より効果的な治療を期待できます。

また、「イトレヴィア 5 CRT-D QP」は、弊社製品の特長であるBIOTRONIK Home Monitoring<sup>®</sup>を使用できるデバイスです。昨年、一流医学誌であるThe Lancetにおいて、「ICDやCRT-Dが適応される心機能が低下した患者に対する臨床試験の結果<sup>\*1</sup>では、Home Monitoring<sup>®</sup>を使用した患者群では使用していない患者群に比べ臨床状態が改善、総死亡率および循環器系死亡率が有意に減少した」と報告されています。

\*1: Hindricks G et al., Implant-based multiparameter telemonitoring of patients with heart failure (IN-TIME): a randomized controlled trial. The Lancet 2014; 384(9943).

#### BIOTRONIK社について

BIOTRONIK社は世界を代表する心臓血管関連の医療機器製造業者の1つで、ドイツのベルリン本社をはじめとして全世界に5,600人以上の従業員を抱え、100を超える国と地域で事業展開し、数百万個の機器の植込み実績を誇っています。1963年にドイツ初の植込み型心臓ペースメーカを開発して以来、BIOTRONIK社は、市場にいくつものイノベーションを発表してきました。その代表的なものとして、2000年に米国で導入された世界初の心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリングシステムであるBIOTRONIK Home Monitoring<sup>®</sup>や、2012年に欧州で認可された世界初の条件付きMRI対応植込み型除細動器および同両室ペーシング機能付き植込み型除細動器などがあります。

#### バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ・BIOTRONIK社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本バイオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。ドイツ企業特有の技術力と製品開発力、医師、コメディカルおよび患者さんのニーズを素早く反映するスピードを活かし、今後も日本における先端技術のイノベーションを目指して活動しています。

<http://www.biotronik.jp>

(本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先)

バイオトロニックジャパン株式会社  
マーケティング部  
プロダクトマネージャー  
佐々木 博人  
Tel: 03-3473-7476  
E-mail: [hiroto.sasaki@biotronik.com](mailto:hiroto.sasaki@biotronik.com)